

## 技術情報

関係機関・団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

### イチゴのハダニ類防除の徹底について

イチゴのハダニ類は、定植直後から発生が多く、平成18年10月12日に注意報第7号を発表し、防除の徹底を呼びかけたところです。

しかし、**依然として発生が多い状態が続いています**。春先は多発し防除が困難となる傾向があるので、**この時期の防除対策の徹底をお願いします**。

## イチゴ

### 1 病虫害名 ハダニ類

#### 2 発生状況

##### (1) 12月3半旬の調査結果

寄生株率 17.1% (平年: 4.1%、前年: 6.6%)

発生ほ場率 70.4% (平年: 27.8%、前年: 57.7%)

(2) 気象予報では、向こう1か月の平均気温は高いと予想されており、今後も発生は増加することが予想される。

#### 3 防除上注意すべき事項

- (1) ハダニ類はスポット的に発生することが多く、地面に接した下位葉ほど寄生が目立つ。多発生後は防除が困難となるので、葉かぎ等の管理作業時によく観察し、発生がみられたら早めに防除を行う。
- (2) 防除は摘葉後に行うと効果的である。その際、葉裏に薬剤が十分にかかるようにする。
- (3) イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場内や周辺の除草を徹底する。
- (4) ハダニ類が寄生した摘葉や除草した雑草は、ほ場内に放置せず、ビニル袋に入れ密閉して処分する。
- (5) 薬剤によってはミツバチへの影響があるので、薬剤の選定は注意する。

(6) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

### チリカブリダニ等の天敵を利用する際の注意点

チリカブリダニ等の放飼後にハダニ類が増えた場合は、天敵に対して影響の少ない農薬で補完防除を行う。

